OKI Open up your dreams

内分泌かく乱物質として懸念されるビスフェノール類の分析を実施します。

製品中のビスフェノール類分析

詳細はこちら ▸ https://www.oeg.co.jp/env_meas/rasin3.html

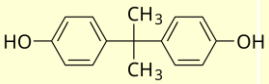
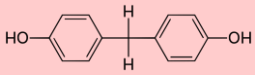
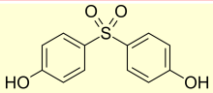
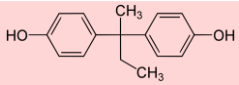
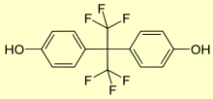
概 要

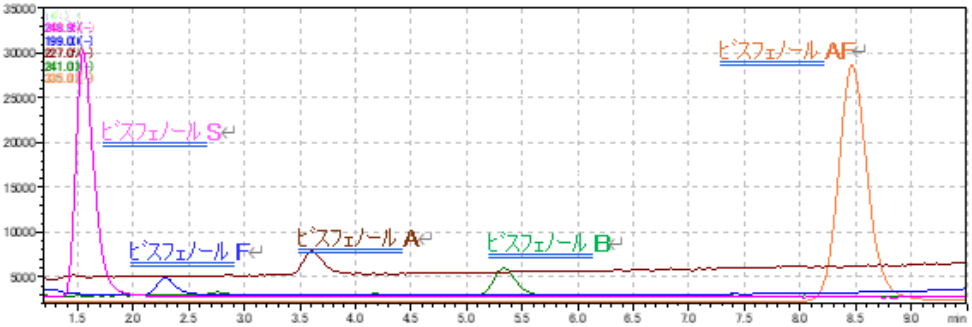
ビスフェノールAは、ポリカーボネートやエポキシ樹脂の原料として、機械部品・建材・医療用品・食品容器など、さまざまな用途で使用されている化学物質です。内分泌かく乱作用による健康への懸念から、国内外で規制が進められています。また、代替品として使用されるようになったビスフェノールFやビスフェノールBなども、同様の有害性が懸念されています。当社では、LC/MS（液体クロマトグラフ質量分析計）を用いたビスフェノール類の測定に対応しています。

特 長

- ビスフェノールAをはじめ、ビスフェノールF・Bなど代替品として使用されるビスフェノール類5種類について、LC/MSによる高感度・高精度な定量分析を実施しています。
- 製品、原材料など様々な形態の試料中の含有量の測定に加え、作業環境における個人暴露測定にも対応しています。

ビスフェノール類　5成分分析

ビスフェノールA（BPA）	CASNo. 80-05-7		第16次SVHC 制限対象物質リスト(附属書ⅩⅦ) Entry no.66
ビスフェノールF（BPF）	CASNo. 620-92-8		第35次SVHC候補
ビスフェノールS（BPS）	CASNo. 80-09-1		第28次SVHC
ビスフェノールB（BPB）	CASNo. 77-40-7		第25次SVHC
ビスフェノールAF（BPAF）	CASNo. 1478-61-1		第35次SVHC候補



LCMSｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾑ

LC/MS

試料(分解･粉砕)
← 有機溶媒
抽出
ろ過･ｸﾘｰﾝｱｯﾌﾟ
LC/MS分析

分析フロー

ビスフェノールAに対する規制として、日本国内では食品衛生法においてポリカーボネート製容器等に2.5ppm以下という溶出試験規格が設けられています。
REACH規則ではビスフェノールA・B・SがSVHCとして収載されており、ビスフェノールF・AFも候補物質となっています。またビスフェノールAはREACH制限対象対象物質リスト(附属書ⅩⅦ)に収載されています。（0.02重量%以上含有の感熱紙の上市不可）

OKI 沖エンジニアリング株式会社
環境事業部
https://www.oeg.co.jp/
お問い合わせ先 Email：oeg-env-div@oki.com　TEL：03-5920-2356

2025.12